



## 臨床研究に関する情報の公開

作成日:2026/01/29

研究課題名	進行・再発卵巢癌患者を対象とした葉酸受容体 $\alpha$ (FR $\alpha$ ) の発現頻度を明らかにする多施設共同研究
研究の対象	当院で卵巢高異型度漿液性癌、原発性腹膜癌、卵管癌の診断を受けている方で、プラチナ製剤抵抗性再発 (a: プラチナ製剤ベースの治療を1種類のみ受けた方では、プラチナ製剤を4サイクル以上投与後した際に奏功が確認され、その最終投与から3~6か月以内に進行した方。b: プラチナ製剤ベースの治療を2もしくは3種類受けた方では、プラチナ製剤の投与中または最終投与後6か月以内に進行した方)、もしくはプラチナ製剤感受性再発 (プラチナ製剤ベースの治療後6か月以上経過したのちに病状が進行し、現在ペバシズマブとの併用でプラチナ製剤を含む化学療法を実施中の方)
研究目的・方法	プラチナ製剤抵抗性あるいはプラチナ製剤感受性の卵巢高異型度漿液性癌、卵管癌、原発性腹膜癌と診断された日本人患者におけるFR $\alpha$ の発現頻度を明らかにし、臨床病理学的特徴を明らかにするために多施設共同後方視的調査研究を企画した。具体的には、本邦の日本人女性における進行・再発卵巢癌患者において、FR $\alpha$ の発現頻度及び臨床的特徴に関するデータを収集し、実態を調査する。 研究期間: 許可日~2026年7月
研究に用いる試料・情報の種類	情報: 年齢、原発巣、ステージ、手術歴、腫瘍マーカー、化学療法歴など 試料: すでに採取されている生検検体や手術検体の病理標本
外部への試料・情報の提供	データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、各施設の研究責任者が保管・管理します。
研究組織	研究代表: 埼玉医科大学国際医療センター 婦人科腫瘍科 長谷川 幸清 研究副代表: 東北大学高等研究機構未来型医療創成センター 東北大学病院 婦人科 島田 宗昭 研究事務局: 自治医科大学附属病院 産婦人科 竹井 裕二 埼玉医科大学国際医療センター 婦人科腫瘍科 藪野 彰 名古屋大学医学部附属病院 産婦人科 芳川 修久 大阪医科薬科大学 産婦人科学 藤原 聡枝 研究調整機関: 婦人科悪性腫瘍研究機構 (JGOG) 婦人科がん臨床試験コンソーシアム (GOTIC) 研究支援企業: 武田薬品工業株式会社 共同研究機関などは下記 UMIN: 大学病院医療情報ネットワークホームページで公開されています。 <a href="https://center6.umin.ac.jp/cgi-open-bin/ctr/ctr_view.cgi?recptno=R000063275">https://center6.umin.ac.jp/cgi-open-bin/ctr/ctr_view.cgi?recptno=R000063275</a>
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。



また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒530-8480 大阪市北区扇町 2-4-20

公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院

電話：06-6312-1221、FAX：06-6312-8867

産婦人科 副部長 山内綱大

研究責任者：

公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院 産婦人科 主任部長 堀江昭史

研究代表者：埼玉医科大学国際医療センター 婦人科腫瘍科 教授 長谷川 幸清